

環境がまちをつくる

省エネリフォーム・リノベーション支援

住宅省エネルギー改修工事補助（建築課）（12月末時点申請件数 25件）
「いこま空き家流通促進プラットフォーム」において、空き家流通促進検討会議を月に1度開催しながら空き家所有者支援を実施（住宅政策室）（12月末時点取扱開始件数9件、成約件数：13件）
既存住宅流通等促進奨励金（住宅政策室）は令和3年度で事業廃止。

太陽光発電システムの加速度的普及促進・既存設備の有効活用

太陽光発電、HEMS、蓄電池またはV2Hの一体的な導入に補助金を交付。
太陽光発電普及促進事業補助
・1kWあたり2万円（12月末時点申請件数 17件）
全額市民出資による市民共同発電所（第1号機～5号機）を運営する「市民エネルギー生駒」と連携した取組を実施

燃料電池・コージェネレーションの導入支援

家庭用燃料電池設置補助は設置費の低減により補助無しでも普及が期待できるとの判断から令和3年度で事業廃止。
家庭用リチウムイオン蓄電システム設置補助
・1kWhあたり1万円（12月末時点申請件数 29件）

環境にやさしい移動手段の普及促進

市内の5箇所（市役所、エコパーク21、図書館、北コミュニティセンター・南コミュニティセンター）に設置された電気自動車用急速充電器を引き続き運用
超小型モビリティ2台の乳児等訪問事業での運用を継続（健康課）
V2Hシステム設置補助
・1件あたり10万円（12月末時点申請件数 0件）

環境がひとを育てる

家庭でのエコ取組の促進

省エネルギー診断（うちエコ診断）の実施：くらしのブンカサイinいこま2022（SDGs環境フェスティバル2022）でNASOによるうちエコ診断を実施（13件）。
省エネ家電買い換え補助金を交付（12月末時点交付件数184件）

学校・地域への環境出前講座

市民団体との連携により、くらしのブンカサイinいこま2022（SDGs環境フェスティバル2022）をはじめとした環境啓発事業を実施（参加人数：2,000人）

住民や企業、他都市と連携した取組

複合型コミュニティ支援補助
・1つの複合型コミュニティにつき、上限50万円（採択数 9自治会7拠点）
SDGs達成に向け生駒市に関わる企業・団体が連携するいこまSDGsアクションネットワークの運用を継続。（11月末時点82団体登録）
複数のSDGsゴール達成に向けて連携して事業を行う2者以上の団体にSDGs推進事業補助金を交付。（12月末時点 1件）

環境が経済を循環させる

「いこま市民パワー」を基軸とした経済の循環

平成29年に設立された地域新電力会社「いこま市民パワー株式会社」による電力供給、家庭の卒FIT電力の買取（12月末時点の申込件数 99件）、みんな電力からのバックアップ電力の調達を継続。
令和4年4月、生駒市長に代わって生駒商工会議所会頭が代表取締役役に就任し、民間の経営感覚を取り入れた新体制に移行。

各種EMS導入支援

住宅用エネルギー管理システム（HEMS）設置補助
・1件あたり上限1万円（1月末時点申請件数 28件）

地産地消サイクル構築に向けた取組

生駒市食品ロス削減協力店制度の継続（12月末時点協力店舗数 6店舗）。
上記SDGsアクションネットワークのマッチングイベントをきっかけに、社会福祉協議会や郵便局、スーパー等が集まり食品ロス削減やフードドライブに関する意見交換会を実施。団体・企業が連携した取組の実現に向けた検討を継続。